

ニセリングカミキリ

Oberea mixta Bates

コウチュウ目カミキリムシ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

本県は、本種と近縁のシラハタリングカミキリとの分布境界線に近い。本県での記録は1例のみであり、きわめて稀である。

形態

体長は12~18mm。体形は筒状で細長い。前胸背板は橙黄色で、上翅は黒色、上翅基部は橙黄色部がある。脚は橙黄色、頭部と触角は黒く、触角の長さはオスで翅端にとどく程度である。

国内分布

本州（愛知県以西）、四国、九州。

県内分布

輪島市（旧門前町白禿）。

生態

成虫は5~8月に見られ、スイカズラの葉脈を後食し、幼虫はその茎を食する。成虫の後食痕は、特徴的であり、本種の生息の指標となる。

生息地の条件

スイカズラの群生地があること以外は不明である。

生存の危機

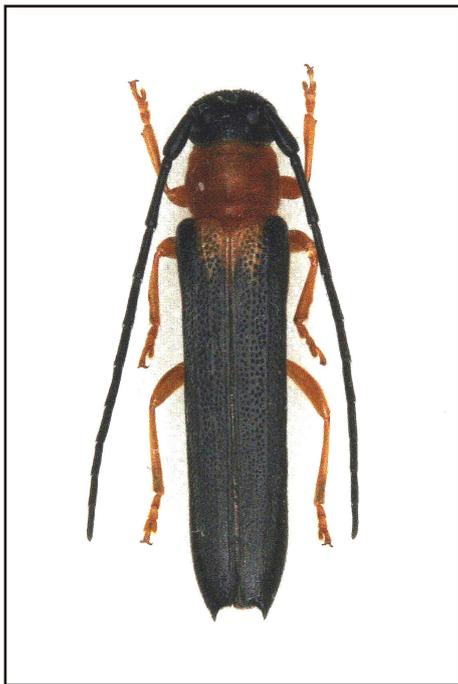
生息地における当面の環境変化はないが、生息地は廃田が広がる林縁環境であり、開発の恐れのあることは否定できない。(A)

特記事項

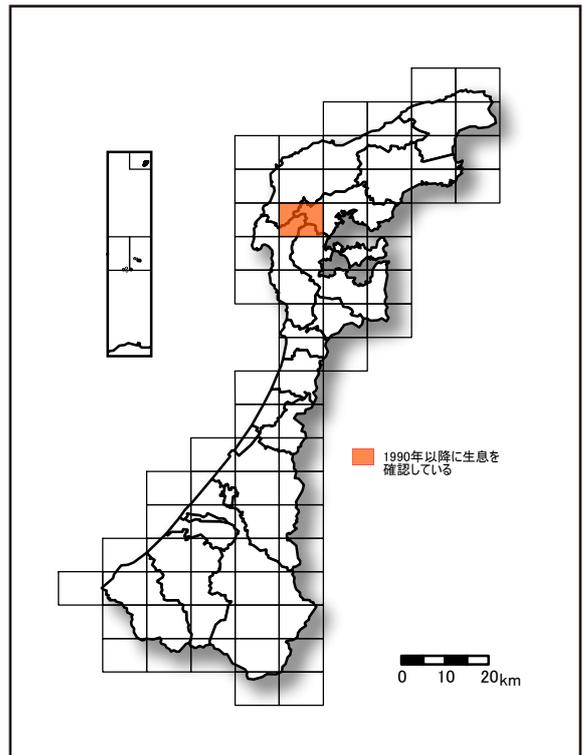
リングカミキリ属は本県から6種記録されているが、ホソツツリングカミキリ以外はよく似ているので、同定には注意を要する。

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫: 197-217. 石川県自然保護課.
井村正行 2005. 石川県におけるニセリングカミキリの初記録報告. とっくりばち, (73) : 31.



標本提供者: 富沢章



県内の分布